

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	鶴ヶ峰もえぎ (単位1:もえぎ)				公表日		2024年 12月 10日	
					利用児童数	回収数	54	35
環境・体制整備	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	33	0	0	2	庭が広く、身体を動かすことが好きな子どもにとっては良いと感じる。	ご意見ありがとうございます。園庭にはブランコや滑り台、砂場等もあり、のびのびと過ごせるよう努めています。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	28	3	0	4	送迎時職員が足りていないと感じることがある。	ご意見ありがとうございます。送迎専門ドライバーの雇入れもおこなっており、添乗員が足りない場合は、保護者の方からご依頼をいただいております。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	28	1	1	5	全ての子どもに対してわかり易くは難しいかと思う。	現在利用して下さっているお子さんの特性、状態に合わせて環境設定に取り組んでおります。引き続き安心して通所できるよう努めてまいります。
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	32	3	0	0	・出入り口もいつも清潔にされており、子どもからも活動スペースが綺麗だと聞いている	ありがとうございます！皆様を気持ちよくお迎えするべく、出入り口は特に力を入れて清掃しております。	
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	30	4	0	1	・本人の状態に合わせて無理のないように参加させてもらったり、対応してもらっている ・職員によってはバラつきを感じる。	ご意見ありがとうございます。職員によって対応のバラつきがないよう、新人教育の徹底、障害理解に取り組んでまいります。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	33	1	0	1		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	32	2	0	1		
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	28	3	0	4		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	32	1	0	2		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	31	2	0	2	・毎月、手先～身体全体を使ったプログラムや知育等飽きず楽しめる内容がたくさん用意されている	ありがとうございます！利用して下さっているお子さんの「すき」を取り入れながら楽しんで参加いただけるよう努めてまいります。
11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	10	11	5	9	・もえぎグループ内での交流で初めて会う友達との関わり方を学べると良い ・聞く限りでは交流の機会はないと思う ・今のところ交流がある話は聞いていない	年間で大きな地域イベントが2つあり、必ず地域の学童や保育所などにもお知らせをさせていただいております。今後、一緒に参加できる活動も検討してまいります。	
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	34	1	0	0		
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	31	3	0	1		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	21	9	1	4	・企画はしてくれていると思うが、参加できないこともあるので定期開催もしくは頻度を増やしてほしい ・定期的に交流会があり助かっている ・機会があれば参加したい	ご意見ありがとうございます。まだご参加いただけていない方にも参加していただけるよう、定期開催等見直してまいります。ぜひご参加お待ちしております。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	29	4	0	2	・毎回様子を教えてください、できるようになったことや過ごし方等細かくお知らせいただけている	ありがとうございます。引き続き情報共有してまいります。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	24	8	1	2	・相談するとアドバイスを買えるが定期的には該当しない ・連絡帳に書いたこと等親身になって返答して下さり日々支えられている ・もう少し話す機会がほしいと思っている	ご意見ありがとうございます。連絡帳のやり取りの他、相談会など、話す場も提供できるように検討してまいります。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	30	4	0	1	・どんなことができて、どんなところを直したい等助言をいただけている	ありがとうございます。引き続き情報共有してまいります。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされているか。	13	8	3	11	・先日の保護者会に参加出来なかったため次回を期待している ・兄弟が不仲なので交流しないほうが穏やかに過ごせると思う ・兄弟児向けのイベントは情報が無いように感じる ・兄弟同士の交流の機会が設けられているのかわからない(2) ・兄弟児同士の交流の場があるなら参加したい	御兄弟の事情に合わせて、引き続き支援してまいります。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	29	2	1	3		
20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	31	4	0	0			

	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	29	3	0	3	・もう少しインスタの投稿で活動内容が分かるありがたい。もしくは保護者のみ閲覧できる活動記録があると良い	ご意見ありがとうございます。Instagramで活動の詳細がわかるよう表記してまいります。いつも閲覧ありがとうございます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	34	1	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	24	5	0	6	・子どもへの説明、訓練は十分だと思う ・防犯訓練等は子どもが「こんなことをした」と内容を教えてくれる ・訓練は実施されているようだが、マニュアルがあるかは不明	HPには各種マニュアル等掲載されているが、保護者には完全には周知できていない部分があると感じる。案内の方法を検討する。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	29	3	0	3		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	30	3	0	2		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	28	1	0	6	・すぐに連絡いただいている。対策もしっかりとしてもらえているので助かる ・状況や対応内容、経過等細やかに教えていただける ・今まで連絡を受けたことがないので不明	ご意見ありがとうございます。引き続き情報共有をしっかりとまいります。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	34	1	0	0	・今年度は行き渋りがあり原因を模索中です	ご意見ありがとうございます。お子さんの無理のないペースで通所いただけるよう、引き続き
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	32	1	1	1	・時々気分が乗らない時も「もえぎに行きたい」と言っている。いつもありがとうございます。 ・毎回とても楽しみにしている	こちらこそ、いつもありがとうございます！
	29	事業所の支援に満足していますか。	35	0	0	0	・いつもありがとうございます（3） ・たくさん利用者がある中で声をかけてくださり嬉しいです。今後も宜しくお願いします ・毎回通所を楽しみにしており、お休みの日は「明日はもえぎね」と連絡帳をランドセルに入れたり、家族に何度も確認してくる。利用して成長した部分は多く、スタッフの言葉で成長に気付かされたことも多々ある。子どもにとっても保護者にとってももえぎはなくてはならない存在。	楽しみに通所してくださっていることが分かり、とても嬉しく感じます。今後もお子さんが、安心して・楽しく通所できる事業所を目指し、支援に努めてまいります。いつもありがとうございます。

公表 事業所における自己評価結果

事業所名	鶴ヶ峰もえぎ (単位1:もえぎ)				公表日	2024年12月10日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	11	5		発達支援室がワンフロアであるため、音等の刺激から支援において配慮が必要となる場面がある。対策を検討する。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	16	2	集団療育/個別療育組み合わせで支援に当たる人員配置を確保している。また、送迎には添乗員がついて安全管理を徹底している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	13	3		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	13	3		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	11	7		発達支援室がワンフロアであるため、音等の刺激から支援において配慮が必要となる場面がある。対策を検討する。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	16	1	朝・昼・夕とミーティングをおこない、月次でも数回支援会議などを実施している。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	16	1	保護者からのご意見は全て職員で共有し、すぐに改善に向けて動くことができている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	16	1		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	10	5		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	15	2	法定研修のほか、支援スキルアップ研修も実施している。また、外部研修にも積極的に参加できるよう余裕を持った職員体制を取っている。	
適切	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	16	2		現在作成中であるため、年度内に公表を進めていく。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	18	0		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	18	0	月に2回支援会議・運営会議を実施し、職員全体へ情報共有が行われ、最善の支援ができる方法を職員全員で考えることができている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	16	2		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	15	2		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	15	2		

な 支 援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	17	1		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	18	1		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ て放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われている か。	15	2		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支 援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を 行っているか。	18	1		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた 支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	11	5		所属する職員の勤務時間の都合上、当日の振り返り 時間が取れない場合があるが、情報共有ツールで共 有したり、翌日ミーティングで振り返りがおこなえ ている
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改 善につなげているか。	15	1		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見 直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	16	1		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複 数組み合わせさせて支援を行っているか。	16	0		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自 己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	17	1		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会 議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	15	1		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保 育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えている か。	13	2		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下 校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時 の連絡）を適切に行っているか。	15	2		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発 達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	14	3		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事 業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供す る等しているか。	14	2		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じて スーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	11	5		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活 動する機会があるか。	11	5		年間2回の地域イベントには参加の案内はさせてい ただいているが、同グループ内保育所の参加程度で 留まっており、引き続き参加の機会を提供できるよ う検討していく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	10	5	年間3回開催している地域子ども部会には、必 ず2名以上参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状 況や課題について共通理解を持っているか。	16	1		
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プ ログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる 研修の機会や情報提供等を行っているか。	13	3	家族支援の一環で保護者会、親子工作など のイベントを企画している。	家族への研修会はまだ実施してことがない ので今後実施していきたい。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明 を行っているか。	15	2		

保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	16	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	16	1		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	18	0		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	14	2		
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	16	1		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	17	0		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	17	1		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	18	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	16	1		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	14	2		HPには各種マニュアル等掲載されているが、家族には完全に周知できていない部分があると感じる。案内の方法を検討する。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	15	1		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	16	1		
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	16	1		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	13	3		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	12	3		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	17	0		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	15	1		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	14	2			